

9月13日

瑞浪市読書感想文コンクール表彰式



平林教育長から賞状を受け取る小司さん

夏休みの課題として位置付いていた読書感想文については、今年度市内の全ての小中学校合わせて2,200点が集まりました。校内選考を経て集まった88点の感想文を図書館協議会で厳正に審査したところ、12点が特選となりました。

瑞浪北中からは、3年生の小司凜音さんの「世界の平和が続くためには～『ある晴れた夏の朝』を読んで～」が特

選の一つに選ばれました。

アメリカによる広島と長崎への原爆投下の現実をその作品から知り、作品に盛り込まれている高校生八人の原爆投下についての討論会の内容を冷静に読み取りました。そして、「差別のない世界をつくることこそが問題の本質だ」と考えるようになった小司さん。

一冊の本との出会いが、彼女の心を揺り動かし、深い理解や新しい考えを生み出したと言えます。

平林教育長はあいさつの中で、「よい感想文を書くためには、よい本に出会うこと、頭や心をフル回転させること」を挙げられました。小司さんの感想文にはまさにその点に優れていたと言えます。

自分が成長する上での栄養になるのが読書です。これからもどんどん本にであってさらなる成長につなげてほしいものです。



全員で記念撮影（後列右から二人が小司さん）

